



並木中等story

令和5年3月8日号

日本がんばれ！

韓国在住の経済学の教授に話を聞きました。近年、日本は一人当たりのGDPで韓国に抜かれました。韓国が成長したからだとは思っていたのですが、教授の話では「日本が停滞していたからだ。」と説明しています。現に、最近まで日本人の賃金は20年近く横ばいだという統計も出ています。

別の教授は日本の教育についても話していました。「日本の学生は覚えることが勉強だと思っている。そして、テストが終わると忘れる。大学に合格して数ヶ月するともう半分近く忘れている学生もいる。“もったいない！” 何のための勉強だったのか。時間の無駄ではないか。」日本人の学力の定着が十分でないのは、次のような理由だそうです。



①覚えようとするのが中心で、考えていないこと（答えを出して満足している）

②学問を楽しんでいないこと（仕方なく勉強している人が多い）

楽しい学び、考える学びが学習には大切なのです。将来を担う皆さんには並木中等で役に立つ学問を受けてもらえるようにしています。本校は塾や予備校とは違います。大学に

合格をするための学びだけを提供する学校ではないことを覚えておいてください。

《祝 学生科学賞県審査県議会議長賞・教育長賞受賞！》

第66回日本学生科学賞の県審査があり、5年次の横井野さんが県議会議長賞（2位相当）同じ5年次の山川さんが教育長賞（3位相当）を受賞しました。2人の作品は、この後、中央予備審査に出品されます。

おめでとうございます。